

深圳女性企業家商會が訪日して来ました



第70回

おもつろい！
モノづくり

モノづくり

最近、昔のウチの工場の夢をよく見ます。
工場が、今のところに移ってきたのは、僕が五〇才のときやから、夢は四〇才前後のころですか。

オヤジと仕事やって、一番のつてたときですかな。忙しかったけど、そんなこと気にもせんかった時代です。

まだバブルも崩壊せず、日本全体に勢いがありました。
なぜそんなこと思い出したかというと、この間、中国の深圳

からウチに、視察団が来たからです。

深圳は「中国のシリコンバレー」と言われるところです。香港に隣接する立地から、一九八〇年に経済特区になつて急速に発達した地域です。

そんな深圳から、女性経営者の団体「深圳女性企業家商會」が訪日して（株）アオキに来てくれました。

みなさん商工会議所のメンバーで二八人。いずれも三十代から六十代の女性経営者で、センスがよく、垢ぬけていました。

どこの貴婦人かと思つたほどです。

えつ？「貴婦人って、いつの時代の言葉ですか」つて？
うるさいわ。とにかく、センスがよかつたんや。

ウチでは、僕の息子が社長として前座を務め、会長の僕が真打として講演しました。

訪日団のみなさんの関心は、事業承継、つまり会社の事業を、どう後継者に引き継ぐか、ということでした。

経営といふのは 勇気だと僕は思います

それにしても、中国の勢いを、まさに目の当たりにした交流でした。

例えば、二八社のうち四社は自家用の飛行機をもつてます。
話を聞いてびっくりしましたわ。

また深圳にはゴルフ場が一二コースあつて、二二六ホールあるそうです。スケールが違いますなあ。日本では、ゴルフ場がつぶれているところもあるというのに。

中国を、昔のイメージで見ていたらとまどいますねえ。

経営にしてもそうです。センスがあると思います。今の中国人のは。

経営というのは勇気だと、僕は思います。

日本の企業は、今、石橋をたたいても、渡らないのと違いますか？

大手企業が冒険しているようには、とても見えません。
大手の多くは、経営をやつてるのやなくて、組織を動かして



●(株)アオキ取締役会長

青木 豊彦 (あおき・とよひこ)



1945年大阪府生まれ。1997年(株)アオキは航空機メーカーのボーイング社の認定工場に。また東大阪の技術力を生かし、人工衛星「まいど1号」を開発、2009年に打ち上げ成功。その後無人垂直飛行機「AKITU」も開発に成功した。2014年4月、国立和歌山大学客員教授に就任。2016年には大阪市立大学学長特別顧問に就任。現在は(一財)ものづくり医療コンソーシアムの理事としても活躍中。

るだけのような気がします。

確かに四半期の黒字決算の企業が多なってきましたが、一方で、年収二〇〇万以下の若者が、一〇〇〇万人以上もいる、という統計もあります。

ここ数年、日本に来る外国人観光客が、えらい伸びてるといいます。僕は、これはひょっとして、日本が安くなつて、他の所得が上がつているからやないか、と考えてしまします。

大手は冒険せんと、アメリカナイズされて、業績の悪いものは切つて、ひたすら株主と経営者のために、黒字化に走つてゐるやありませんか。

では、翻つて中小企業はどうか。まだその七割は守つてゐる

ように思えます。守つてゐる言ふのは、大手の下請けにおとなしく準じてゐる、ということです。

でも、大手企業は、下請けの共栄会のようなグループをつくるのを嫌がつてます。

下請けを優遇せずに、外国の企業とも価格競争してください、という具合になると、仕事が不安定になり、いい下請けがなくなります。

そんなんあきまへんで。

経営には 魅力が大事です

あらためて思うんですが、経営には、魅力が大事です。

それは大手企業だけやなくて、中小企業はもとより、この前、アメフトで問題になつた日大など大学や、研究機関なんかも

同じやと思います。

中小は、負けたら倒産なんやから、組織を常にリフレッシュせんと生きていけません。

大学や研究機関はおつとりしてますなあ。急いでやる必要ないかも知れませんが、組織は生きていくんといけません。

同時に、新しいことも大事ですが、古きよきものも守らなくてはなりません。



●深圳女性企业家商会のメンバーと青木会長

うけてるベンチャー企業を取り上げてますけど、百年つづいた企業を、きちんと取り上げる番組は、少ないですね。こんなに長くつづいてる企業があるのは、日本しかありません。常にリフレッシュしながら、よいものは守つていく。

それこそが日本の強みやと僕は思います。

東京のおっちゃんがブチブチ言うてます。

「今日は、まじめすぎて、よう突つ込めませんなあ」と。

甘いなあ。これが僕の本領なんだよ。君は、まだまだねえ(笑い)。

